

平成 27 年度事業報告書

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

【報告】

生涯学習センターでは、「さっぽろ市民カレッジ」を中心に、現地学習や実習を交えたプログラムの充実やセンター以外の施設での講座実施など、多様な学習機会の提供に努めるとともに、市民講師（ご近所先生企画講座）やボランティア団体のセンター事業への参画を積極的に図り、学習成果を生かした市民の社会参加を支援した。

また、利用者の利便性向上を目的としたメディアプラザの図書配架レイアウト変更を行うとともにサークル発表会など市民が学習成果を発表できる場を提供するなどし、市民の主体的な学習や活動の場の充実に努めた。

青少年科学館は、道内の公共施設と連携した催しや民間企業等と連携した科学講座の開催、中高生による科学教室の充実など学校教育及び関係機関との連携、ネットワークの強化を図った。

また、プラネタリウムリニューアルに伴い1階エントランスや券売カウンターもリニューアルし、来館者の期待感を高めるとともに利便性と快適性を両立させる改修を行った。

さらに、多様な特別展示を展開し、来館者の興味・関心を喚起するとともに、プラネタリウム休止中には移動プラネタリウムの活用のみならず、天文台や天体観望会などの事業を充実させた。

公 1 生涯学習普及振興事業

(定款第 4 条各号に掲げる事業)

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目 的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 学習機会提供・活動支援事業

(1) さっぽろ市民カレッジ

年間を 3 期（4～8 月、9～12 月、1～3 月）に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系で合わせて 305 講座を実施した。市民の様々な学習ニーズに対応するため、センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生（市民講師）の企画・運営による講座や大学・企業とも連携した講座を実施するなど、市民に多様な学習機会を提供した。

さらに、高校生と大人と一緒に学ぶ〈学社融合講座〉では、受講生の世代を超えた交流を図った。

ア 市民活動系

ボランティア活動、市民活動、地域活動などに必要な知識・技術を学び、まちづくり活動などに参加するきっかけづくりの場とするため、実践的な学びの場として、現地学習を取り入れた講座を強化し、実施した。



施設訪問コンサート実習を取り入れた「楽しく歌ってボランティア」など実践的な学習を数多く実施し、市民の主体的な活動を支援した。

イ 産業・ビジネス系

職業能力の向上や起業などに役立つための講座を実施した。

ビジネス・スキルアップのための「仕事に役立つマインドアップ入門」、効果的な商品などの陳列方法を学ぶ「ディスプレイ入門」などを実施した。



ウ 文化・教養系

趣味・教養講座などで市民の学習意欲の向上を図るとともに、継続的な学びの場を提供し、幅広い年齢層に向けた講座を実施した。

高齢者を対象としたパソコン講座「パソコンをゆっくり学ぼう」や現地学習を取り入れた「初めての裁判所訪問」などを実施した。また、ちえりあ学習ボランティア企画講座で、「孫と楽しもう！読み聞かせ」「冬道安心！転ばん講座」などを開講し、ご近所先生企画講座では、各区等と連携して「風呂敷・手ぬぐいで 100%活用

術」(中央区民センター)、「未病を改善!やさしい漢方健康講座」(西野第2会館)、「天然石のエレガントネックレス」(資料館)、「脱!紙の山 暮らしのすっきりファイリング」(南区民センター)などを開催し学びのコミュニティづくりに役立てた。また、学社融合講座では、市立札幌大通高校を会場に世代間交流を図りながら「自分の企画を実現するための講座」「基礎から学ぶ手話講座」などを開講した。

【実績】さっぽろ市民カレッジ講座内訳 (括弧内は前年度実績)

| | センター 企画講座 | 学社融合 講座 | ちえボラ 企画講座 | ご近所先生 企画講座 | 講座数計 | 受講者数計 |
|--------------|--------------|------------|--------------|-----------------------------------|--------------|------------------|
| 市民活動系 | 24 (24) | 10 (9) | — (3) | — (—) | 34 (36) | 477 (522) |
| 産業・ ビジネス系 | 26 (26) | 6 (7) | — (—) | — (—) | 32 (33) | 436 (470) |
| 文化・ 教養系 | 56 (58) | 12 (12) | 17 (17) | 154 (150) ※地域会場: 23 (27) | 239 (237) | 4,255 (4,302) |
| 合計 | 106 (108) | 28 (28) | 17 (20) | 154 (150) | 305 (306) | 5,168 (5,294) |

(※地域会場: 区民センター・地区センター等)

(2) 生涯学習関連講座

市民の多様なニーズに対応するため、大学・企業などと連携し、その機能や専門性を生かした講座を実施した。また、市民の生涯学習活動を支援するため、行政と連携し、センターの持つノウハウを生かした講座を実施した。

ア 大学などとの連携事業

札幌市立大学と連携した文化財を学ぶ講座や、北海道教育大学と連携した学生が講師となる子ども向け講座などを実施した。



【実績】札幌市立大学連携講座 3回 43名

「札幌の文化財建造物探訪(夏)豊平館の探検」ほか
北海道教育大学札幌校連携講座 5回 56名

「懐中電灯で光のお絵かき~ピカピカアートにチャレンジ!~」ほか

イ 行政機関連携講座

センターが有する企画・運営のノウハウを生かし、高齢者対象の「東区年輪大学企画運営業務」「西区ときわ大学企画運営業務」をそれぞれ受託し、実施した。



【実績】「東区年輪大学」16回 52名 (前年度 16回 64名)

「西区ときわ大学」15回 50名 (前年度 15回 41名)

ウ 民間企業などとの連携事業

アサヒビール(株)北海道工場、雪印メグミルク(株)北海道統括支店、東洋水産(株)と連携し、それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、企業の社会貢献活動に協力した。



【実績】「ミルクの秘密探検隊」29名

「子どもラーメン道場」8名

「森の学校（アサヒビールとの連携事業）」10名 ほか

エ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

専門機関や各種学会・協議会などと連携し、現地学習を交えるなどして専門性が高い中にも親しみが感じられるような講座を実施した。



【実績】「国際交流・多文化共生講座

～ご近所の外国人と楽しく暮らすコツ～」6名

「ちびっこマジック教室」25名

「噺家に学ぶ『落語』体験」13名

(3) 生涯学習普及事業

ア ちえりあフェスティバル

ちえりあの開館（平成12年8月）を記念して、館内の4施設（生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、教育センター、リサイクルプラザ宮の沢）が共同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを行い、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。



【実績】8/22(土)～23日(日)2日間 18,669名（前年度2日間 16,992名）

・ロビー特設ステージでのコンサート、ショー

・各種講座、サークル活動体験コーナー ほか

イ ちえりあ映画会

センター所蔵の映像教材の活用と映画を楽しむ機会を提供するための映画会を行った。ボランティア団体の「ムービー北海道」の協力を得て、視聴覚障がい者も鑑賞できるよう副音声や字幕付きの作品も上映した。

また、学校の長期休業期間には子ども向け作品を上映した。

【実績】10回 2,472名（前年度10回 2,253名）

大人向け6回 1,408名「黄色いリボン」「チャップリン短編集」ほか

子ども向け4回 1,064名「チルビー」「トムとジェリー」ほか

ウ オペラシアター

世界一流のオペラを鑑賞しながら、それにまつわる幅広い知識や教養を身につけるため、センター所蔵のDVDの上映と専門家の解説を組合せた講座を実施した。

【実績】6回 629名（前年度6回 764名）

「ドン・ジョバンニ」ほか

エ ちえりあ映像フェスタ

北海道や札幌をテーマに市民から公募した映像作品や視聴覚センター制作作品の上映会とコーディネーター（北海道教育大学教授/伊藤隆介氏）による講評を行い、地域の魅力について考えるきっかけとした。

【実績】3/5(土)応募 18作品、来場者 173名

（前年度 応募 17作品、来場者 107名）

オ ちえりあ講演会

生涯学習活動の普及啓発を図るとともに、さっぽろ市民カレッジをはじめとする事業のPRを図るため、市民が興味・関心を持つテーマの講演会を開催した。

【実績】1講演 180名（前年度2講演 275名）

3/19(土)「発掘から見える私たちのまちと未来～恐竜研究最前線～」

講師：小林快次氏

カ ゆりかごコンサート

子育て中の親とその子どもに気軽に音楽を楽しんでもらえるよう、乳幼児の声や動きをあまり気にせずに鑑賞できるコンサートを開催した。

【実績】2公演 485組 970名（前年度2公演 313組 631名）

9/30(木)出演：あみゆぜ 参加 263組 526名

12/22(火)出演：よみがたりシアター 参加 222組 444名

キ CDコンサート

センター所蔵のCDと再生機器を活用し、良質な音響環境で音楽に親しむ場を提供するとともに、メディアプラザの貸出しCDの利用促進を図った。

【実績】12回 323名（前年度12回 243名）

「シベリウス作曲交響曲第5番」

「イル・ディーボ クリスマスコレクション」ほか

ク 日本映画名作祭2015（主催：優秀映画鑑賞推進事業実行委員会）

上記実行委員会に参加し、東京国立近代美術館フィルムセンターが保有する日本の貴重な名作映画を上映し、映画文化の普及を図る事業を実施した。



また、平成 27 年度は 20 回目の節目の開催であったため、これまでの歩みを振り返る展示をロビーで行った。

【実績】10/15(木)～16(金) 4 作品各 2 回上映・特別講演 2 回 1,088 名

増村保造監督「華岡青洲の妻」ほか

(前年度 4 作品 各 2 回上映 753 名)

ケ 北海道吹奏楽フェスティバル (共催：北海道吹奏楽プロジェクト)

若手プロ奏者たちによるアンサンブルの演奏会と、小・中学校・高校・大学の吹奏楽部に公開レッスンを行うレクチャーコンサートを開催して、吹奏楽活動を支援し、その普及を図った。



【実績】1/30(土)～31(日)982 名 (前年度 2 日間 1,069 名)

コ カルチャーナイト

夜間、公共施設などを開放し、文化活動の発信を通じて、市民の地域文化への関心を高めるとともに、新しい地域文化の創造と発展を図る「カルチャーナイト」に実行委員として参画し、「科学おもちゃで遊ぼう!」「16 ミリフィルム上映会」「ノスタルジックトショシツ」を開催した



【実績】7/17(金)76 名 (前年度 40 名)

(4) 文化振興事業

落語を通して日本の古くからの風俗・習慣・人情を学び、日本の伝統芸能への理解を深めるきっかけとするため、落語事業を行った。

ア 落語学校鑑賞会

日本の伝統芸能である落語の楽しさや奥深さに触れてもらうため、中央区、西区、手稲区の小学校 9 校を無料招待し、鑑賞会を実施した。

【実績】6/29(月)～30(火)4 公演 1,443 名(9 校)

(前年度 6 公演 1,460 名(7 校))

招待校：琴似小、手稲宮丘小、新発寒小、新陵東小、西野第二小、中央小、円山小、伏見小、三角山小



イ 特選若手落語会

落語の魅力を紹介するため、次代を担う若手落語家の公演会を開催し、気軽に落語を楽しむ機会を提供した。

【実績】6/28(日)335 名 (前年度 305 名)

主な出演者：三遊亭圓馬、桂米福

ウ ちえりあ寄席

本格的な寄席を鑑賞する機会を提供するため、寄席囲いをしつらえた舞台上、真打はもとより、道内で唯一、前座、二つ目、色物も出演する寄席を行った。

【実績】8/21(金)～23(日)4公演 1,390名

(前年度 4公演 1,265名)

主な出演者：三遊亭小遊三、春風亭小柳枝、三遊亭遊雀、雷門小助六



エ ちえりあ学生寄席

伝統芸能としての落語などを学ぶ学生（北海道大学落語研究会）に取組みの成果を発表する機会を提供するとともに、市民に落語を親しんでもらうため「ちえりあ寄席」の舞台を活用した寄席を行った。

【実績】8/20(木)195名（前年度 217名）



オ 秋のお気軽ミニ落語会

落語の世界とその魅力や鑑賞方法などを学んでもらうため、出演者による解説形式の公演を実施した。

【実績】11/8(日)138名（前年度 128名）

主な出演者：春風亭柳之助、瀧川鯉丸、KYOKO

(5) 学習活動支援事業

ア サークル発表会

ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体が学習成果を披露する場を提供し、活動意欲の向上及び活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることに役立てた。

【実績】参加 75 団体、来場者 1,796 名

展示部門：11/14(土)～20(金)参加 19 団体

舞台部門：11/17(火)～19(木)参加 56 団体

(前年度 展示：参加 18 団体、舞台：51 団体、来場者：1,655 名)



イ ロビーコンサート

市内や近郊で音楽活動に取り組んでいる個人、団体から出演者を公募し、音楽活動の発表の場を提供するとともに、気軽に市民に演奏を聴いてもらう機会を提供した。

【実績】12回参加 12 団体来場者 1,823 名

(前年度 参加 12 団体、来場者 1,804 名)



ウ 幼稚園児のお絵かき展

一般社団法人札幌市私立幼稚園連合会の協力のもと、幼稚園児の活動発表の場としてロビーで作品展を開催した。期間中は普段来館することが少ない園児やその家族が来館し、楽しそうに展示作品を眺めるなど館内に明るい賑わいが創出された。



【実績】参加 14 園 1,789 作品（前年度 12 園 1,832 作品）

エ アートウォール作品展示

ロビーの壁面を活用し、市民から募集したアート作品の展示を行うことで、芸術活動に取り組む市民に発表の場を提供するとともに、来館者にアート作品鑑賞の機会を提供した。

【実績】出展者 11 作品（前年度 10 作品）

「北海道カラコ会大通り教室／テキスタイル」

「ラ・フルール・カランドリエ／フラワーアレンジメント」ほか

オ ロビー展示

ロビーやギャラリーで市民カレッジ受講生の作品展などを行い、学習成果発表の機会提供と学習意欲向上を図った。

2 学習支援者活用・育成事業

(1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

ア 市民講師育成事業（ご近所先生）

ご近所先生企画講座の講師を希望する市民を対象に、講師としての資質向上とスキルアップを目的とした研修会と交流会を実施した。

【実績】研修会 4 回 参加者 159 名（前年度 4 回 143 名）

講師交流会 1 回 参加者 50 名（前年度 1 回 23 名）



イ 生涯学習ボランティア育成事業

(a) ちえりあ学習ボランティア

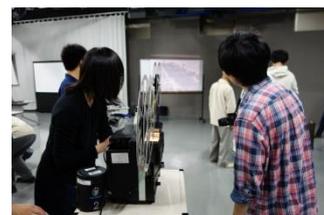
さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」に、活動の場と知識やノウハウを実践的に学ぶ機会を提供した。

【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者 55 名
（前年度 46 名）



(b) メディアボランティア・オンデマンド

視聴覚教育に精通する教員OBで構成されるメディアボランティア「オンデマンド」に、その専門的知識を生かし、16ミリフィルム及び映写機の使用方法を一般市民に伝える講習会の場を提供するなど、活動を支援しボランティアの育成を図った。



【実績】「オンデマンド」登録者7名（前年度7名）

16ミリフィルム上映体験講習会

6/27(土)・11/28(土) 2回27名（前年度1回8名）

ウ 職場体験などの受入れ

大学のインターンシップなどを受入れ、講座の企画・立案や運営など、生涯学習に係る職業体験の場を提供した。



【実績】7校31名（前年度7校29名）

北海道大学5名、札幌市立大学2名、北海学園大学10名、英藍高校4名、
豊明高等養護学校1名、手稲東中学校4名、稲積中学校5名

エ 生涯学習関連施設職員研修事業

区民センター、地区センターなど生涯学習活動支援に関連する施設職員の資質向上を図るため、事業の企画立案や広報などに必要な知識やノウハウを身につける研修を実施した。



【実績】2回26施設51名（前年度2回19施設58名）

2/16(火)25施設28名

2/18(木)21施設23名

(2) ボランティア等活用事業

ア 学習支援者活用推進事業

さっぽろ市民カレッジ受講修了者に対して、学んだ成果を生かしてもらうため、センター事業や地域での活動の場を提供し、支援を行った。

(a) ちえりあビデオクルー

映像メディア講座受講生で結成されたグループに、センター事業、地域の活動・行事、自然風景などのビデオ撮影・編集を依頼し、センターのホームページで作品を発信した。これらを通しスキルアップを図り、同講座の講師を務めてもらった。



【実績】登録者数21名（前年度22名）

(b) 市民ファシリテーター

市民ファシリテーター養成講座修了者を対象に実践活動に必要な知識やノウハウを学ぶ機会を提供し、同講座の補助講師を務めてもらった。



【実績】講座受講者 4 名、登録者 3 名（前年度 講座受講者 3 名、登録者 2 名）

(c) コーラスボランティア

「楽しく歌ってボランティア」講座修了者で結成されたグループに同講座の運営補助を務めてもらった。また、施設慰問コンサートを実施した。



【実績】登録者「コスモス」10 名（新規）

「プリティボイス」14 名（前年度 13 名）

(d) カメラボランティア

写真の撮影技術や知識を学ぶ講座の修了生がつくるボランティアサークルに対して撮影の場を提供するとともに、広報誌等に活用させてもらうなどした。



【実績】登録者「ポレフォト」5 名（前年度 8 名）

「ハピネス」7 名（前年度 5 名）

「you快」6 名（前年度 7 名）

3 生涯学習センター管理運営事業

(1) 施設の貸与

ア 貸室事業

市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を条例に基づき有料で提供した。また、平成 28 年度の運用開始に向けて、ホームページと連携するための新たな貸室受付システム構築作業を行った。

【実績】貸室利用件数 14,512 件、利用率 80.7%

（前年度 貸室利用件数 14,705 件、利用率 80.2%）

※ 貸室を全日利用の場合は 1 件、午前、午後、夜間と分けて利用する場合は 3 件と数えるため、全日利用が多い場合は利用件数が減少する。このため、利用率が増加しているにもかかわらず、利用件数が減少した。

イ ギャラリーの活用

ギャラリーを市民の学習成果の発表の場として提供した。

【実績】ギャラリー利用件数 25 件（前年度 14 件）

ウ 学習のための施設開放

施設を弾力的に活用し、大研修室などの空き室を学習の場として開放した。

【実績】夏季期間（7/22(水)～8/16(日)）11日間251名（前年度11日間199名）
冬季期間（12/21(月)～3/16(水)）40日間761名（前年度44日間873名）

エ 公共目的事業の共催

市民によるまちづくり活動の一環として催された映画上映会など、外部団体による生涯学習に係る事業で、当財団の公益目的事業の趣旨に沿うものについて共催し、広報や使用料の減免などの会場協力や支援を行った。

【実績】共催事業4件（前年度4件）

(2) 学習相談・情報提供

ア 学習相談、サークル・講師の紹介

メディアプラザの学習相談を始め、生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、サークル活動の情報や「ちえりあ市民講師バンク」に登録している講師を紹介し、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

あわせて、「ちえりあサークル」に登録している団体の情報をまとめた「サークルガイド」を発行した。

【実績】メディアプラザ学習相談15,148件（前年度4,978件）

※ 平成27年度から学習相談件数に生涯学習センターで受ける講座内容や施設案内を含めるよう見直した。

サークル登録149件（前年度148件）

イ 広報誌の発行

生涯学習センター主催事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、公共施設などに配布した。

【実績】6回発行（5月、7月、9月、11月、1月、3月）各回12,000部

（前年度6回発行 各回13,000部）

ウ ホームページの活用

講座やイベントなどの情報提供のほか、ちえりあビデオクルーが撮影した動画を配信するなどして、センターの事業を紹介した。

また、9月からHPで貸室の空き状況を確認できるようにし、利便性の向上を図った。

【実績】ホームページアクセス数1,217,662件（前年度1,168,170件）

エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

行政機関、大学、民間カルチャーセンターなどで実施している講座の情報をまとめ、市民に提供する冊子を発行した。

【実績】2回発行（6月、11月）各回3,000部（前年度2回発行 各回3,000部）

オ 「子どもの学びガイド」の発行

学校休業日に市内公共施設で開かれる子ども向け事業を紹介するガイドを発行し、市内の全児童に配布した。

【実績】4回発行（7月、9月、12月、3月）各回93,000部

（前年度4回発行 各回93,000部）

カ 調査研究事業

今後の市内の生涯学習関連施設等の事業企画の参考とするため、西区西町地区を対象に、地域活動の問題点を住民が主体となって解決する手法を実践的に学ぶ講座を試行した。

【実績】9/3(木)「楽しい居場所を考えよう！」受講者数14名

10/13(火)「よい聞き手になるために」受講者数22名

11/12(木)「他のまちの居場所作りを紹介」受講者数30名

キ 利用者などの声を生かす取組み

(a) 生涯学習センター運営協議会

今後の管理運営に生かすため、学識経験者などによる協議会を開催し、当センターの事業を検証し、現在中断している飲食店事業の今後や広報活動などについてのご意見をいただいた。

【実績】9/10(木)、12/10(木)、2/24(水)

(b) 利用者アンケートの実施

利用者を対象に接遇などの満足度を測るアンケートを2月に実施し、総合満足度は約85.6%と、高い評価を得ることができた。

【実績】回収数610枚（前年度528枚）

(3) 図書及び視聴覚教材の閲覧・貸出し、資料収集並びに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

広く学習相談に応じるとともに、生涯学習に関する資料の収集と貸出しや資料紹介などのレファレンスサービスを通じて、学習活動の支援を行った。利用者の利便性を向上させるため、6月から図書の配架レイアウトを変更し、本や雑誌、CDの特集展示やランタンのほのかな明かりの中で音楽と読書を楽しめる企画「ノスタルジックトショシツ」などを積極的に実施した。

【実績】利用者数75,694（前年度61,738名）

(a) 図書閲覧・貸出し

生涯学習に役立つ図書の閲覧と貸出しを行った。また、市立図書館の蔵書の取



次サービスにも対応した。

【実績】蔵書 25,779 冊（前年度 25,409 冊）

貸出冊数 33,811 冊※メディアプラザの蔵書分（前年度 29,488 冊）

市立図書館の蔵書の貸出取次数 24,814 冊（前年度 23,463 冊）

(b) 音楽・語学教材・映像の視聴

クラシック音楽を中心とした音楽などの図書館として音楽・映像・語学教材（保有数 28,931 点）を館内での視聴に供した。また、CD（保有数約 1 万 2 千点）の館外貸出しを実施した。

【実績】利用件数

＜館内貸出＞ 音楽教材 1,436 件（前年度 1,642 件）

語学教材 9 件（前年度 19 件）

映像教材 3,340 件（前年度 3,983 件）

＜館外貸出＞ 音楽CD貸出数 9,515 件（前年度 8,294 件）

イ 視聴覚センター管理運営事業

札幌市からの委託により、視聴覚教育の推進と市民団体や学校などへの学習支援を行うことを目的に、視聴覚センターの管理運営を行った。

(a) 視聴覚教材の貸出し

市内の学校、町内会やサークルなどに、16 ミリフィルム（保有数 3,065 本）・ビデオ（保有数 6,503 本）・DVD（保有数 1,321 本）などの貸出しを行った。また、自主制作教材をホームページ上でも見ることができるデジタルアーカイブスとして提供した。

【実績】教材貸出数 2,767 本（前年度 3,548 本）

機材貸出数 354 台（前年度 273 台）

デジタルアーカイブスアクセス数 108,455 件（前年度 62,780 件）

(b) 学習教材の制作

学校教育、社会教育関係者に依頼して地域を主題とした教材を制作するとともに、教材制作を行う教職員などへの助言・技術指導も行った。

また、前年度に制作した教材のうち 1 作品が全国自作視聴覚教材コンクール（一般財団法人日本視聴覚教育協会主催）で入選した。

【実績】新規制作教材数 4 本

「受けつがれる伝統～里塚小唄物語」「玉ねぎ畑にへ連れてって」

「青少年科学館へ行こう」「まもろうね交通ルール」

平成 27 年度全国自作視聴覚教材コンクール入選作品

＜小学校部門＞入選「小樽港北ぼう波ていをつくる」

(c) 視聴覚操作技術等講習会

① ビデオ制作ワークショップ

自主制作教材の制作技術の向上を図るため、教職員を対象に夏休み・冬休み期間中にワークショップを実施した。

【実績】4回 51名（前年度4回 38名）

② 中学校校内放送コンテスト

札幌市中学校放送教育研究会との共催で、中学校放送局員が制作した番組とアナウンスのコンテストを開催した。

【実績】7/12(日)12校（前年度7校）

アナウンス部門 6名（前年度4名）

朗読部門 27名（前年度27名）

テレビ番組部門 2作品（前年度1作品）

ラジオ番組部門 3作品（前年度2作品）

③ 中学校校内放送技術講習会

札幌市中学校放送教育研究会と共催で、中学校放送局員の技術向上を図るための講習会を実施した。

【実績】2回 22校 81名（前年度2回 20校 97名）

8/19(水)15校 57名、2/6(土)7校 24名

II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

4 科学及び科学技術普及振興事業

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(a) 日曜実験室

日曜・祝日に小中学生を対象に、身近な題材や現象を多く取り入れた実験教室を実施した。

【実績】63回 841名（前年度62回 825名）

「くっつくだけじゃない！磁石の不思議な力」

「静かで強いエレキテル?!」ほか



(b) サイエンジャー科学教室

小中学生を対象に、さまざまな切り口で観察や実験を行い科学の面白さを伝えた。その中で夏休みと冬休み期間には、北海道小学校理科学研究会と連携し、小学校の教員による実験教室を行った。

【実績】20回 275名（前年度21回 392名）

「まぜまぜ大実験!」「ROBOLABプログラミング教室」ほか



(c) 親子科学教室

来館やイベント参加へのきっかけをつくるとともに、親子で協力する場を提供するために、親子で参加する実験・工作教室を実施した。

【実績】3回 39組 82名（前年度4回 62組 129名）

7/4(土)「親子で藍染を体験しよう!」1回 13組 28名

11/14(土)「トライサイエンス!」2回 26組 54名

(d) 科学館の工作室

<小中学生向け>

日曜・祝日に、小中学生を対象に科学の原理を盛り込んだ簡単な工作教室を実施した。

【実績】171回 1,384名（前年度171回 1,474名）

「さくらスコープ」「クルクル赤とんぼ」ほか

<親子向けなど>

親子や小学校高学年以上を対象に、より高度な内容で、工作物のしくみなどに

ついでに解説も行う工作教室を実施した。

【実績】2回39組98名（前年度3日間27組52名）

7/11(土)「AMラジオを作ろう！」1回39組76名※親子向け

12/19(土)「光ファイバーツリーを作ろう！」1回22名※小学4年生以上

<夏休み工作会>

自由研究を支援するため、小中学生の夏休み期間に合わせて実施した。

【実績】12日間60回1,267名（前年度12日間48回770名）

7/30(木)～8/2(日)、8/6(木)～9(日)、8/13(木)～16(日)

「トコトコかにさん」「はやぶさ2の宇宙スコープ」

<冬休み工作会>

自由研究を支援するため、小中学生の冬休み期間に合わせて実施した。

【実績】11日間44回766名（前年度9日間45回423名）

1/5(火)～7(木)、1/9(土)～12(火)、1/14(木)～17(日)

「トントン！おさるの太鼓」

「くるくる回転寿司」

(e) 大人のための天文教室

① やさしく学ぶ星空教室

初心者向けに、季節の星座や星座早見盤の使い方などを学ぶ基礎的な天文教室を実施した。

【実績】2回全6日37名（前年度2回全6日46名）

② 詳しく学ぶ天文講座

中級以上を対象に、少し専門的な内容を盛り込んだ天文講座を実施した。

【実績】2回全8日54名（前年度2回全8日54名）

(f) 親子天文教室

親子を対象に、天文工作と天体観望を組合せた天文教室を実施した。

【実績】6回119組277名（前年度6回121組269名）

7/25(土)～27(月)

「手づくりの天体望遠鏡で星を見よう」3回58組144名

1/9(土)～11(月.祝)

「星座キーホルダーをつくろう」3回61組133名

(g) 宇宙セミナー

宇宙・天文についての興味関心を高めるため、第一線で活躍する専門家を招き、最新の天文情報に基づく講座を実施した。なお、平成27年度は、日本宇宙少年団北海道ブロック協議会と共催実施した。



【実績】 1 講演 138 名（前年度 1 講演親子 20 組）

11/14(土)「宇宙で生活するには」講師：JAXA 平林久 氏

(h) さっぽろ市民カレッジ 2015 秋期講座

「星空ウォッチング これであたかも宙ガール!？」

札幌市生涯学習センターのさっぽろ市民カレッジにおいて、天文係職員が講師となって、星や宇宙に関心を持つ女性を対象に季節の星座や星座早見盤の使い方などの基礎的な天文教室を実施した。

【実績】 11/11(水)、18(水)2 回 3 名

(i) 先端科学技術講座

技術者や科学者などの専門家を招き、最先端の科学技術や話題の科学に関することをテーマにした講演・実演を行った。

【実績】 2 回 272 名（前年度 3 講演 380 名）

7/25(土)「山崎直子宇宙飛行士特別講演会～宇宙と星と夏休み～」162 名

10/10(土)「再生医療の可能性」講師 札幌医科大学 佐々木祐典氏 110 名

(j) 中高生による科学教室

中学校・高校の科学部などの生徒が、研究の成果を発表し、互いに交流する場を提供するとともに、一般参加者も参加・体験できる科学教室を実施した。

【実績】 10/10(土)参加校 10 校(中学校 4 校、高校 6 校) 120 名、31 テーマ

(前年度 9 校(中学校 5 校、高校 4 校) 93 名 23 テーマ)

(k) 大学生による科学教室

大学生の研究実践の場を提供するとともに、子どもたちの科学への興味関心を高めるため、大学生が、小中高生を指導する科学教室を実施した。

【実績】 2 回 44 名（前年度 2 回 49 名）

2/13(土)「世界最小? ミニロボット相撲であそぼう!」29 名

2/20(土)「空気の力を体験しよう!」15 名

(l) 中高生によるサイエンス広場

中学校・高校の科学部の生徒たちが、実験や工作などの体験ブースを設け、市民に対して科学の面白さを伝えるイベントを開催した。

【実績】 2/27(土)参加校 5 校(中学校 4 校、高校 1 校)計 14 ブース 参加者 93

(前年度 6 校(中学校 3 校、高校 3 校)計 11 ブース 参加者 49 名)

イ 出前イベント

(a) 移動科学館

理科授業支援のため、普段の授業では実施が困難な実験を学校へ出向き実施した。

【実績】 14 校 899 名（前年度 13 校 836 名）



小学校 5 年生 9 校 607 名

小学校 6 年生 5 校 292 名

「電気と磁石は親戚!？」 9 校

「水にとけるとはどういうことか？」 5 校

(b) 出前サイエンス

＜幼児のための出前サイエンス＞

就学前の子どもたちが楽しみながら科学に慣れ親しむことができるよう、幼稚園へ出向き、遊びの要素を多く取り入れた実験・実演・工作教室を実施した。

【実績】 13 園 1,580 名（前年度 16 園 1,514 名）

「サイエンスマジシャンのふしぎなマジック」ほか

＜出前サイエンス&工作会＞

公共施設や青少年向けイベントなどに出向き、サイエンスショーや工作教室などを実施した。

【実績】 5 回 3,991 名（前年度 1 回 30 名）

5/9(土)「サッポロファクトリー

・エネルギーEXPO」 245 名

6/14(日)「青少年のための科学の祭典in北海道 2015」 2,050 名

9/12(土)「科学の祭典in石狩 2015」 1,600 名

11/3(火・祝)余市宇宙記念館「おもしろ宇宙教室」 2 回 63 名

12/9(水)ちあふる手稲 33 名 ※臨時休館の代替実施



(c) 移動天文台

学校や町内会などからの要請により、移動天文車と職員及び天文指導員を派遣し、天体観測や星空解説などを行う観望会を実施した。

【実績】 48 回 3,676（前年度 41 回 3,398 名）

6/19(金)～8/13(木) 琴似小学校、川下公園など

9/4(金)～27(日) 百合が原小学校、農試公園など

9/15(火)～27(日) 百合が原小学校、農試公園など

1/6(水)～30(土) 豊平区役所、清田区役所など

＜近隣施設からの依頼による観望会＞

8/9(日)えこりん村「えこりん村星空観察会」



(d) 移動プラネタリウム

移動式のプラネタリウムを利用し、地理的・時間的に来館困難な小学校などへ出向き、学習投影を行った。

また、幼稚園やその他イベントなど多方面でアウトリーチ活動に活用した。

【実績】幼稚園 15 園 30 回 958 名

(前年度 10 園 21 回 724 名)

小学校 5 校 12 回 418 名

(前年度 5 校 13 回 408 名)

児童会館など 9 施設 55 回 1,485 名

(前年度 4 施設 9 回 203 名)

ウ その他科学普及に関する事業

(a) 札幌科学クラブ (Sciキッズ) 運営

リピーターの拡大を図るため、小中学生を対象に会員を募り、メールマガジンでイベントの案内を行うほか、会員を対象としたイベントを実施した。

また、Sciキッズ会員の中から希望者を募り、更に科学の学びが深められるような科学教室やクラブ活動などを行った。

【実績】会員 62 名 (新規 23 名、更新 39 名)

(b) 職場体験などの受入れ

児童・生徒の総合的な学習や学生の自主研修などへの支援として、職場体験やインターンシップを受入れ指導した。

【実績】13 校 53 名 (前年度 14 校 62 名)

高校 2 校 (白陵高校、英藍高校) 8 名

中学校 11 校 (信濃中学校、もみじ台中学校など) 45 名

(c) 実験実習セット貸出し

学校での効果的な授業作りに役立つ実験・実習セットを貸出した。また、平成 27 年度からは観察資料用の微生物 4 種類 (ミカヅキモ・ミドリムシ・ボルボックス・ミジンコ) の提供も開始した。

【実績】貸出し 22 団体 45 セット (前年度 23 団体 37 セット)

(d) 教員研修

教材研究に協力するとともに、授業や部活動に生かせる観察・実験の紹介や実習を行う教員研修を当科学館において実施した。学校教育との連携を深めるため、より授業実践に生かせる内容となるよう充実を図った。

【実績】6 回 49 名 (前年度 5 回 50 名)

6/18(木) 当別・新篠津教育研究協議会 5 名



- 8/4(火) 札幌市教育センター教育課題研修コース
(Let'sサイエンス【小学校実験(水溶液)】) 20名
- 8/7(金) 札幌市教育センター教育課題研修コース
(Let'sサイエンス【小学校実験(生物)】) 9名
- 1/5(火) 札幌市教育センター教育課題研修コース
(Let'sサイエンス【小学校実験(天文)】) 6名
- 1/8(金) 札幌市教育センター教育課題研修コース
(Let'sサイエンス【小学校実験(電気)】) 4名
- 1/13(水) 札幌市教育センター教育課題研修コース
(Let'sサイエンス【小学校実験(気象)】) 5名

(e) 家庭教育学級への協力

P T Aなどからの要望により、家庭教育学級の活動として実験教室を行った。

【実績】7/27(月)山の手小学校「夏の星のイベント」40名

(f) ちびっこワークショップ

主に未就学児の親子を対象に、科学に親しみを持ってもらうため、遊びの要素を取り入れた体験型教室や工作、実演などを行った。



【実績】6回1,948名(前年度6回3,230名)

「つみきであそぼう！」

「ちびっこワークショップスペシャル～家族でサイエンス～」ほか

(g) 博物館実習の受入れ

大学からの依頼により、学芸員の資格取得のための博物館実習生を受入れ、指導した。



【実績】6校7名(前年度7校9名)

(前期)8/3(月)～16(日)

札幌大学1名、札幌学院大学1名

(後期)8/30(日)～9/13(日)

東海大学1名、琉球大学1名、札幌市立大学1名、北翔大学2名

(h) 4次元デジタル宇宙シアター

天文への興味・関心を喚起するため、国立天文台が開発したシミュレーションソフトを利用した映像を上映した。なお、上映にあたっては天文指導員が解説を行った。

【実績】56回2,430名(前年度72回3,668名)

12/15(火)～18(金)、12/19(土)～20(日)24回982名

2/13(土)～14(日)、2/20(土)～21(日)32回1,448名

(i) 科学映像・写真展 (Visual Science Vol. 1)

科学に関する興味や関心を喚起するため、天文や科学をテーマにした映像や写真を展示するイベントを実施した。

【実績】2/13(土)～21(日)8日間 2,550名

井山幸大氏(札幌天文同好会所属)の天文写真展

(j) 「お誕生日星座ぬりえ大会」

天文への興味・関心を喚起するため、自分の誕生日の星座をぬり絵で描くイベントを実施した。この大会の作品は、平成28年4月のプラネタリウムリニューアルを記念して行う「星座ぬりえコンテスト」で展示・表彰される。

【実績】2/20(土)～21(日)作品数216点

エ 共催事業・協力事業

(a) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」(主催:一般財団法人日本宇宙フォーラム)

宇宙の日(9月12日)を記念して、小中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品を募集し、審査・表彰を行った。

【実績】応募数 作文:小学生7名、中学生8名

絵画:小学生44名、中学生11名

当館から全国入賞者2名

作文小学生の部 リモート・センシング技術センター理事長賞

作文中学生の部 文部科学大臣賞

(前年度 作文:小学生8名、中学生5名

絵画:小学生248名、中学生34名 当館からの全国入賞者2名)

(b) 札幌市創意くふう作品展(主催:札幌市創意工夫教育研究会他)

学校教員との連携と科学普及活動への貢献のため、小中学生の自由研究などの審査及び作品展示の会場提供を行った。

【実績】9/19(土)～20(日)展示数82点、応募数288点

(前年度 展示数81点、応募数270点)

(c) 北海道青少年科学技術振興作品展(主催:北海道発明工夫教育連盟)

道内の小中学生が自由研究などで制作した作品の展示(入選作品)とその表彰式の会場を提供した。

【実績】11/21(土)～22日(日)展示数133点、応募数133点

(前年度 展示数59点、応募数126点)

(d) 夏休み天体観望会(共催:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)

光害の少ない定山溪自然の村において、星雲や流星など明度が低い天体を見る観望会を実施した。

【実績】8/12(水)150名(前年度201名)

(e) さっぽろ星まつり（共催：さとみらいプロジェクトグループ）

さっぽろさとらんどにおいて、市民の天文への興味、興味、関心を高めるために、天体観望会・望遠鏡工作会・星空観察やMitaka（宇宙シアター）実演などのイベントを実施した。



【実績】8/22(土)～23(日)2日間 4,200名

（前年度2日間7,100名）

(f) 他団体との連携による科学教室

企業や研究団体からの応援を得て、通常では実施が困難な専門的な内容の科学教室を実施した。

【実績】6回 394名

●北海道ロボット教育推進会

4/12(日)「ロボットづくり講習会

～マイコンレーサー編～」25名

9/6(日)「マイコンレーサー講習会

～中級編～」15名

11/8(日)「ロボットづくりコンテスト」17名

●一般社団法人日本機械学会ホムテックス・メカトロニクス部門

6/27(土)「親子メカトロ教室

～走れ!ロボットカー～」30組 58名

9/13(日)「ロボコンプロデュース」200名

●日本無線株式会社

7/11(土)「AMラジオを作ろう！（再掲）」39組 79名



(g) 星空観賞会（共催：株式会社札幌丸井三越）

札幌三越を会場に、街中での星空観賞を目的として星空紹介と天体望遠鏡観察体験を行った。

【実績】8/10(月)8組 20名

(h) 教員のための博物館の日in札幌（主催：独立行政法人国立科学博物館）

北海道開拓の村を会場に、教員を対象にした博物館等施設の学校利用促進イベントに参加し、当館の学校支援の取り組みを紹介した。

【実績】8/4(火)41名

(i) HOKKAIDOサイエンスキャンプ（主催：旭川西高等学校 主管：室蘭栄高等学校）

科学技術系人材の育成及び学校教育との連携推進を目的に、道内のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校及び北海道立教育研究所附属理科教育センターと連携し、当館の展示物をテーマにした探究活動や高校生による実験屋台

村など、生徒の研究発表を伴う宿泊合宿を行った。

【実績】 9/12(土)～13(日)6校 53名

(j) **ロボット宇宙飛行士KIROBO特別展示**

(主催：KIBO ROBOTO PROJECT・札幌市青少年科学館)

企業の研究活動成果及び最先端科学技術を紹介するために、KIBO ROBOTO PROJECT（トヨタ自動車(株)、(株)電通、東京大学先端科学技術センター、(株)ロボ・ガレージ）と連携（科学館と両主催）し、実際に宇宙に滞在したロボット「KIROBO」の実物展示と開発者によるトークショーを行った。

【実績】 7/11(土)～12(日)2,778名

(k) **子どもものづくり体験会**（主催：北海道、苫小牧工業高等専門学校）

理科教育及び産業教育の支援やものづくりの担い手の育成を図るため、北海道経済部や北海道経済連合会などと連携し、「金属アクセサリをつくろう」と「ふりふり発電機をつくろう」の2つの体験講座を実施した。

なお、講座には苫小牧工業専門学校の生徒が運営及び学習支援者として参加した。

【実績】 5/24(日)90名

(l) **市内の高齢者大学等の受入れ**

生涯学習活動を支援するとともに地域との連携を深めるため、市内の高齢者大学の見学授業を受入れた。見学授業では、プラネタリウム鑑賞や館内展示物観覧の体験に加えて、職員による展示物見学ガイドを行った。

【実績】 9/1(火)厚別区瑞穂大学 40名

10/6(火)豊平区創造学園 73名

(m) **夏の星イベント**（主催：札幌市立山の手小学校）

夏休み期間に小学校へ出向き、宇宙や星について学ぶ機会を提供した。

【実績】 7/27(月)山の手小学校 40名

(n) **かるちやるnet連携事業**

厚別区と江別市にある社会教育施設等 11 施設（北海道開拓記念館、道立図書館、江別市セラミックセンターなど）が連携し、地域住民の学習・文化活動の推進活性化や施設間連携の促進を目指す「かるちやるnet」が主催したイベントで各施設のPRと体験講座を実施した。当館の体験講座は「デジタル宇宙シアター」を実施した。

【実績】 10/25(日)

「発見・体験文化の秋—遊ぼう！学ぼう！あつべつ・えべつ—」

（サンピアザ光の広場）400名（うち当館講座参加者 120名）

11/29(日)

「かるちやるガーデン」※北海道教育大学連携事業

(北海道教育大学札幌駅前キャンパス・紀伊国屋札幌本店)

283名(うち当館講座参加者80名)

(o) 道内科学館連携事業

道内の科学館との連携を深めるため、連携事業(出前事業)を行った。

プラネタリウムがない空知管内で移動プラネタリウムを実施するなど、ネットワークを生かし、道内の科学教育の振興に寄与した。

【実績】11/3(火・祝)余市宇宙記念館「サイエンスショー」109名(再掲)

11/8(日)滝川市こども科学館「移動プラネタリウム」190名(再掲)

(p) サイエNZ00(主催:札幌市円山動物園)

「円山動物園科学の日 サイエNZ00」の中で、幼児向けの工作会やアザラシを題材としたサイエンスショーを実施した。



【実績】10/11(日)~12(月・祝)5,626名

(前年度1日間246名)

(q) ジオ・フェスティバル in Sapporo2015

(主催:ジオ・フェスティバル in Sapporo2015 実行委員会)

科学館の開館無料感謝デーに合わせてブース形式で地球科学の魅力について伝える実験などを行った。



【実績】10/3(土)4,552名(前年度3,358名)

(r) CISEネット連携事業

札幌市周辺の博物館などの教育施設20団体・施設(北海道大学総合博物館、札幌市豊平川さけ科学館など)が連携し、市民への科学教室を推進するネットワーク「CISEネット」に参加し、講座などを実施するための会場提供、広報協力を行った。



【実績】

11/29(日)「ヒグマの科学」10名

1/17(日)「恐竜の科学」14名

1/23(土)~24(日)「CISEサイエンスフェスティバル2016 inチカホ」7,761名

(s) 新さっぽろ冬まつり2016への参加

(主催:新さっぽろ冬まつり2016 実行委員会)

新さっぽろ駅周辺地区の冬場のにぎわいづくり、親子連れ家族に対する冬の楽しみの提供、地域団体・住民との協働によるまちづくりの実現をめざし厚別区の

イベントに参加した。

当館は、館内エントランスでサイエンスショーを行うとともに、厚別区民センターで移動プラネタリウムを行った。

【実績】 1/30(土)～31(日)

ひえひえサイエンスショー 202名

移動プラネタリウム 47名(再掲)

(t) 北海道科学英語発表・交流会

科学技術系人材の育成及び学校教育との連携推進を目的に、札幌啓成高校（SSH指定校）と北海道教育委員会と連携し、道内の高校生が理科や科学に関する研究内容を英語でポスター発表する交流会（発表内容は一般公開）を行った。交流会にあわせて、北海道大学等の留学生と一緒に展示物を観察したり、研究内容や観察結果について研究者から英語で助言・レクチャーなどを受けるプログラムを実施した。



【実績】 3/12(土) 11校 39発表 高校生 116名 留学生 37名 その他参加者 111名

(u) ゆりかごサイエンス広場（公益財団法人札幌交響楽団との連携事業）

未就学児から大人まで幅広い世代に対して、音楽や科学との触れ合いの場を提供し、好奇心や感性を育むことを目的に、札幌交響楽団内のボランティアグループのメンバーによるアンサンブルコンサート、そして当館職員の音をテーマにしたサイエンスショー及び工作会を実施した。

【実績】 3/13(日) 350名

(2) ボランティアなどの育成・活用事業

ア 天文指導員の養成

天文に興味をもっている学生や一般市民を対象に会員を募り、定期研修や天文事業への参加機会を提供して天文普及の一翼を担う人材を養成した。

【実績】 登録者数 45名(新規 11名)

(前年度 登録者数 46名)

(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学技術に関する資料の収集

(a) 科学技術に関する資料の収集

展示物の解説や展示物の更新・改良の基礎資料として、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。職員の参考資料にするとともに、科学系雑誌などは、学習コーナーにて閲覧できるようにした。

(b) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物の収集に加えて、札幌市天文台や移動天文車などを活用して観測天体写真を撮影するなどして、収集した資料を活用するとともに、ほしのへやにて閲覧できるようにした。なお、撮影した天体写真はホームページなどで公開した。

イ 科学情報の提供・学習支援

(a) 「星空散歩」発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを発行し、市内公共施設などで配布した。

【実績】 6回発行(4月、6月、8月、10月、12月、2月)計 52,500部発行

(前年度 6回 55,500部)

(b) 天文相談コーナーの運営

反射式、屈折式などの代表的な天体望遠鏡や参考図書などを備えた天文相談コーナー「星のへや」を設置し、土曜・日曜・祝日を中心に、職員や天文指導員が直接来館者の天文相談に対応する時間を設け、市民の天文学習を支援した。

※11月2日よりプラネタリウムリニューアルのため、一時閉鎖した。

(c) ホームページによる学習支援・情報発信

科学館ホームページに科学トピックスや学習支援のためのワークシートを改善して掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行った。

【実績】 ホームページアクセス数 304,602件 (前年度 382,185件)

5 青少年科学館等管理運営事業

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(a) 常設展示

見て・触れて・考えるをテーマに、天文・地球科学・北方圏・電気・力学などの200点を超える展示物を適切に管理運営し、来館者への解説なども交えながら子どもたちに科学への興味・関心を深めてもらった。

また、北方圏の科学館としての特徴を生かした、人工降雪装置や低温展示室など実演と組合せた展示を行うとともに、山崎直子名誉館長の活動の軌跡などを紹介するコーナーを新設するなど、展示内容の充実を図った。

(b) 展示実演等

① サイエンスショー

不思議な現象の紹介や楽しい実験を通して、来館者とのコミュニケーション

を図りながら科学への興味・関心を深めてもらえる内容の実演ショーを行った。

【実績】728回 17,443名（前年度714回 20,002名）

「朝、起きたら きしょう」

「科学の不思議！この色、へんか」ほか

② テレビスタジオ

クロマキーなどテレビ番組で使われている特殊効果を紹介するとともに実際に撮影体験してもらう参加型の実演を行った。

【実績】3回/日

③ 低温展示室公開

-10℃に設定した部屋の中に雪や氷の性質が分かる展示物を配置し、解説を行った。観測船「しらせ」から寄贈された南極の氷の展示も行った。

【実績】3回/日

(c) 実験・実習への協力

市内の学校等を対象に、理科の学習のための実演や実験・実習を行った。バーチャリウム跡を「サイエンスホール」として改修し、実験の実演や展示物（触れる地球）を活用した環境学習を実施した。

【実績】4校 174名（前年度8校 295名）

7/1(水) 円山小学校 4年生 148名

8/1(土) 山の手高校特別進学コース1年生 5名

10/16(金) 中央中学校 1年生 6名

2/21(日) 留寿都村教育委員会「なんでもチャレンジクラブ」

小学生 10名 保護者 5名

イ 特別展等

(a) 特別展

夏休みや冬休みなどの期間に、話題性の高いテーマや特定のテーマを深く掘下げた体験型展示中心の特別展を開催した。

① 夏の特別展「アリスのふしぎ体験ツアー」

幅広い年齢層に人気がある錯視や錯覚を取り上げ、不思議な体験ができる内容で実施した。

【実績】7/25(土)～8/23(日)

30日間入館者数 58,027名

(前年度30日間 入館者数 93,615名)

② 冬の特別展「ギガワンダフル！自由研究ラボ」

小学生の「自由研究で何をすれば良いか」という悩みに対して科学館としてアドバイスとヒントを出



す内容で実施した。

【実績】 1/5(火)～17(日)13 日間入館者数 10,725 名

(前年度 15 日間 入館者数 17,945 名)

③ 春の特別展『なに！コレ？』パーク～科学のおもちゃ大集合！』

既製品のおもちゃや知育玩具、教材等を使って、遊びながら科学の原理・現象、科学技術に触れてもらう内容で実施した。



【実績】 3/26(土)～4/3(日)9 日間 入館者数 14,573 名

(前年度 12 日間 入館者数 22,154 名)

(b) 企画展

ゴールデンウィークなど期間限定で行うイベントを実施した。

① カラコロKARAKURI展

ゴールデンウィーク期間中に、ものづくりや力学をテーマにした企画展を実施した。



【実績】 4/11(土)～5/6(水・祝)

26 日間 入館者数 20,702 名

② ちびっこ広場

ゴールデンウィーク期間中に、乳幼児が楽しめる科学体験イベントを実施した。知育玩具を中心に、遊びながら科学を体験できる内容で実施した。

【実績】 5/2(土)～6(水・祝)5 日間 入館者数 11,268 名

(前年度 4 日間 入館者数 26,791 名)

③ シルバーウィーク企画イベント

シルバーウィーク期間中に、親子で楽しめる科学体験イベントを実施した。暗室での実験体験を通して、普段視覚から多くの情報を得て、それに頼って生活していること、また、暗闇の中では視覚以外の感覚が研ぎ澄まされることが実感できるワークショップなどを実施した。



【実績】 9/20(日)～23(水・祝)

感覚で遊ぼう in まっくらな部屋 4 日間 1,214 名

科学館クイズラリー 4 日間 736 名

(c) バックヤードツアー

科学館への興味関心をより深めるため特別展の設営の様子や、展示室の裏側など、普段見ることの出来ない部分を見学するツアーを実施した。



【実績】3回 47名

(前年度3回 57名 ※内1回はSciキッズ会員限定イベント)

7/20(月・祝)「アリスのふしぎ体験ツアー」

～夏の特別展・先取り企画!バックヤードツアー～ 2回 35名

1/4(月)「ギガワンダフル!自由研究ラボ」

～冬の特別展 バックヤードツアー～ 12名

3/21(月・祝)「『なに!コレ?』パーク～科学のおもちゃ大集合!」8名

(d) 環境科学展

市内等の企業や団体と連携し、環境への取組み事例を体験型ブースで紹介するイベントを実施した。

【実績】10/24(土)～25(日)2日間 出展団体15団体、入館者数3,878名

(前年度2日間 出展団体15団体、入館者数5,183名)

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影・解説

(a) 一般投影

職員が、各回の観望者の年齢層にあわせた内容や話し方を工夫した生解説を行うなど、観望者に分かりやすく星座や天文知識を紹介した。(11/2以降休演)

【実績】900回 68,206名 ※H27.11.1までの実績

(前年度1,324回 113,432名※科学館感謝デー、プラネ祭りを除く)

(b) 学習投影

小中学校を対象に、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、理科授業の一環として、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影を行った。必要に応じて移動プラネタリウムも活用した。

【実績】251校 112回 16,796名 ※H27.11.1までの実績

(前年度224校 142回 17,206名)

移動プラネタリウムによる学習投影5校 12回 418名

(前年度5校 13回 408名)

(c) オート番組制作

一般投影時に用いる、小学生向けのプラネタリウムオート番組(ドーム全体に投影されるアニメーション動画)を制作した。

【実績】「僕らもみんな宇宙人!？」(制作)



イ プラネタリウム特別投影

(a) 特別投影

通常のプログラムとは趣向を変え、旬の話題や現象について深く掘り下げ、天文に興味のある人にさらに深く、広く考えてもらえるような投影を行った。

【実績】 6回 787名 ※H27. 11. 1までの実績（前年度7回 912名）

5/23(土)・24(日)「ジブリ音楽特集」2回 294名

6/27(土)「冥王星の素顔！

～探査機ニュー・ホライズンの最接近迫る～」105名

8/1(土)・2(日)「ディズニー音楽と星の世界」2回 295名

9/26(土)「月の科学」93名

(b) イブニングプラネタリウム

通常の開館時間中に来館できない人に観覧機会を提供するため、週末の夜間に一般投影を行った。

【実績】 2回 135名 ※H27. 11. 1までの実績（前年度3回 224名）

4/18(土)オート番組「存在証明～ンデマモ～」82名

8/29(土)オート番組「天知想像？～星空を見上げて～」53名

(c) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な人がプラネタリウムを楽しめるように、字幕付きの投影を行った。

【実績】 4回 370名 ※H27. 11. 1までの実績（前年度6回 570名）

7/10(金)「サイエンジャーと星の一生」16名

7/11(土)「流星群を見に行こう！」59名

10/9(金)「宇宙～その始まりを求めて～」141名

10/10(土)「宇宙～その始まりを求めて～」154名

(d) 親子で楽しむミニプラネタリウム【新規】

プラネタリウム休演期間に、プラネタリウムへの興味をつなぎ、来館を促すため、移動プラネタリウムを特別展示室で実施した。

【実績】 14回 230名

2/16(火)～19(金)8回 125名

2/24(水)～26(金)6回 105名

(e) プラネタリウムさよなら祭り

リニューアルにより引退となる機器のさよならイベントとして、過去のエピソードや事前に募集し、プラネタリウムにまつわる思い出を盛込んだプログラムを実施した。

【実績】 10/31(土)～11/1(日)2日間 1,854名

ウ 天体観望事業

(a) 天体観望会

① 科学館観望会

主に夜間のプラネタリウム上映に合わせ、科学館駐車場において移動天文車などを使った観望会を行った。

【実績】 6回 332名 ※13回中8回中止（前年度7回 387名）

(b) 札幌市天文台公開

天文に対する興味・関心を高めるため、天文台が所在している公園内に簡易看板を設置するなどし、天文台の利用促進を図ったところ、昨年度に比べ約2倍の利用者増となった。

【実績】 計 638回 11,154名（前年度 635回 6,314名）

午前 304回 4,574名、午後 261回 4,273名、夜間 73回 2,307名

（前年度午前304回2,838名、午後262回1,938名、夜間69回1,538名 計6,314名）

(c) 昼間の星を見よう！

科学館屋上天文台の60cm望遠鏡を用い、昼間の星を観望した。

【実績】 105回 1,562名（前年度 37回 456名）

(d) 皆既月食観望会

平成27年4月4日に起きた「皆既月食」の観望会を札幌市天文台で行った。

【実績】 1回 400名

(e) ゴールデンウィーク特別観望会

ゴールデンウィーク期間中に科学館正面玄関前で太陽と木星の観望会を行った。

【実績】 5/2(土)～6(水・祝)「太陽観望会(昼)」476名

5/2(土)～6(水・祝)「木星観望会(夜)」92名

(f) シルバーウィーク特別観望会

シルバーウィーク期間中に科学館周辺で、日中は太陽、夜間は当日見える天体の観望会を行った。

【実績】 9/19(土)～23(水・祝)「太陽観望会(昼)」212名

9/19(土)～23(水・祝)「星空観望会(夜)」77名

(g) 部分日食観望会

平成28年3月9日(水)に起きた「部分日食」の観望会を青少年科学館前および札幌市天文台にて行った。

【実績】 1回 100名

青少年科学館前 50名、札幌市天文台 50名

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

イベント情報などを盛り込んだ「科学館ニュース」を毎月発行し、市内の幼稚園、小中学校に配布した。また、地域への広報強化の一環として、区役所や区民センターなどのコミュニティ施設や、図書館などの社会教育施設にも配布した。

【実績】 12回総計 25,500部 ※館内配布分は除く（前年度 11回 総計 19,640部）

イ 利用者などの声を生かす取組み

(a) 利用者アンケートの実施

開館中に来館者に対して施設利用に関するアンケートを実施した。混雑している展示物の見学・体験の為に並んでいる列の誘導・整理をきめ細かく行うよう意見が寄せられたことから、繁忙期は職員をできるだけ混雑する展示物周辺に配置し、横入りなどをしないように注意を促した。

【実績】 回答：GW263名、夏休み特別展 273名、冬休み特別展 200名

(b) 科学館運営協議会の開催

学校関係者や学識経験者、地域有識者などからなる協議会を開催した。協議会では、小中学生向けPR映像資料の作成や教員研修の充実を図ることなどについてのご意見をいただいた。

【実績】 9/30(水)、1/19(火)、3/4(金)

(c) 小学校連絡会の開催

市内の小中学校との連携の推進及び学校利用の促進を図るとともに、当館の事業の充実を図るために学校関係者との情報・意見交換を行った。今の子どもたちの興味・関心にあった科学館の展示内容や家庭科との連携など、幅広い視点から科学する心を育む必要性について意見を交わした。

【実績】 3/4(金)

(d) 中学校連絡会の開催

市内の中中学校との連携の推進及び学校利用の促進を図るとともに、当館の事業の充実を図るために学校関係者との情報・意見交換を行った。制作中のプラネタリウム学習投影用の画像・映像コンテンツ等を鑑賞していただき、内容等についての助言をいただいた。

【実績】 1/22(金)

(e) 子ども科学会議

科学館が立地する厚別区の小学校（15校）の4年生から科学館への要望などを伺い、様々な意見を運営に生かした。

【実績】 3/19(土)厚別区内小学校 12校 14名

(f) 科学館開館記念感謝デーの開催

昭和 56 年 10 月の当館開館を記念して毎年 10 月の第 1 土曜日に実施しており、展示室及びプラネタリウムを無料開放した。

当日は、子どもによる J A Z Z コンサートや特別なサイエンスショー、館内の展示物を活用したサイエンスクイズラリーを行うなど、多彩なイベントを実施した。また、売店の商品の試食を行うとともに、新商品に関する利用者アンケートを行い、新商品の選定に生かすなど、市民サービスの向上に繋げた。

【実績】 10/3(土)4,552 名（前年度 4,321 名）

(g) エントランス等の改修

札幌市によるプラネタリウムの機器更新工事（平成 27 年 11 月 2 日～平成 28 年 4 月 14 日）に併せて、内部留保資金等活用計画により、1 階エントランスや券売カウンターを利便性と快適性を両立させる改修を行った。

収 1 物品販売等事業

(定款第4条第1項第6号に掲げる事業)

(1) 売店の運営

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者等への便益提供を目的とした売店事業を行った。

(2) 自動販売機の設置・販売

札幌市生涯学習センターと札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした自動販売機事業を行った。

(3) 飲食店の運営

生涯学習センター利用者の管理運営事業に附帯する事業として、平成28年度中を目的に旧レストランスペース（現在休憩室として利用）にメディアプラザの機能を拡張した「ブックカフェスタイル」に対応する飲食施設の導入を検討した。

他 1 生涯学習施設の公益目的外貸与等事業

(定款第4条第1項第5・6号に掲げる事業)

(1) 施設の貸与

企業などの利用を含む公益目的以外の目的に対し、ちえりあホールや各種研修室などを貸与した。

(2) 駐車場管理業務

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、利用者への便益提供を目的とした駐車場の管理運営を行った。

(3) 施設管理受託業務

札幌市生涯学習総合センター内の教育センター、若者活動センター、リサイクルプラザの警備、清掃業務を札幌市から受託し、実施した。

平成27年度 管理運営施設利用状況

● 札幌市青少年科学館観覧者数

| | | 平成27年度 ※プラネタリウムはリニューアルの為(11月2日～休演) | | | 前年度 (平成26年度) |
|-------------------|----|---------------------------------------|--------|---------|-----------------|
| | | 個人 | 団体 | 合計(人) | |
| 展示室 | 大人 | 93,570 | 7,348 | 100,918 | 130,842 |
| | 小人 | 105,591 | 41,280 | 146,871 | 174,912 |
| 小計 | | 199,161 | 48,628 | 247,789 | 305,754 |
| プラネタリウム | 大人 | 32,241 | 2,677 | 34,918 | 58,658 |
| | 小人 | 30,940 | 22,039 | 52,979 | 75,980 |
| 小計 | | 63,181 | 24,716 | 87,897 | 134,638 |
| 合計 | | 262,342 | 73,344 | 335,686 | 440,392 |
| 1日あたりの観覧者数 (人) | | 1,195 | | | 1,567 |

● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況

| 項目 | | 平成27年度 | 前年度対比 | 平成26年度 |
|-------------------|---------|---------|--------|---------|
| 貸室(25室) | 利用率(%) | 80.7% | 100.6% | 80.2% |
| | 利用人数(人) | 368,277 | 99.8% | 369,058 |
| 1日あたりの利用者数 (人) | | 1,061 | 99.7% | 1,064 |

● メディアプラザ利用状況

| 項目 | 平成27年度 | 前年度対比 | 平成26年度 |
|--------------------|--------|--------|--------|
| メディアプラザ利用人数 (人) | 75,694 | 122.5% | 61,783 |
| 1日あたりの利用者数(人) | 218 | 122.5% | 178 |

● 視聴覚センター教材貸し出し状況(16ミリ・ビデオ教材・機材)

| 項目 | 平成27年度 | 前年度対比 | 平成26年度 |
|----------------|---------|--------|--------|
| 貸出本数 | 3,121 | 81.7% | 3,821 |
| デジタルアーカイブアクセス数 | 108,455 | 172.8% | 62,780 |

● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況内訳(主な貸室)

| 項目 | | 平成27年度 | 前年度対比 | 前年度 (平成26年度) |
|---------|------|---------|--------|-----------------|
| ホール | 利用率 | 67.5% | 94.3% | 71.6% |
| | 利用人数 | 111,098 | 97.5% | 113,915 |
| 講堂 | 利用率 | 69.6% | 96.7% | 72.0% |
| | 利用人数 | 49,890 | 99.1% | 50,326 |
| 大研修室 | 利用率 | 72.5% | 108.0% | 67.1% |
| | 利用人数 | 25,346 | 102.8% | 24,660 |
| 中研修室1 | 利用率 | 72.2% | 103.9% | 69.5% |
| | 利用人数 | 15,883 | 101.4% | 15,666 |
| 中研修室2 | 利用率 | 87.7% | 104.5% | 83.9% |
| | 利用人数 | 17,738 | 99.7% | 17,796 |
| 演劇スタジオ1 | 利用率 | 97.7% | 100.3% | 97.4% |
| | 利用人数 | 11,304 | 105.0% | 10,763 |
| 演劇スタジオ2 | 利用率 | 95.4% | 97.9% | 97.4% |
| | 利用人数 | 7,077 | 89.3% | 7,929 |
| 音楽スタジオ1 | 利用率 | 96.0% | 100.3% | 95.7% |
| | 利用人数 | 7,075 | 111.7% | 6,334 |
| 音楽スタジオ2 | 利用率 | 98.9% | 101.5% | 97.4% |
| | 利用人数 | 7,515 | 105.6% | 7,116 |
| 映像スタジオ | 利用率 | 78.2% | 107.3% | 72.9% |
| | 利用人数 | 10,032 | 115.4% | 8,693 |

● メディアプラザ音楽・映像教材保有数

| | CD | LP | SP | LD | VHS | DVD | 合計 |
|-------|--------|-------|-------|-------|-----|-------|--------|
| 保有数 | 12,376 | 8,763 | 1,946 | 1,884 | 192 | 1,174 | 26,335 |
| うち新着数 | 93 | 0 | 0 | 0 | 0 | 39 | 132 |

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 28 年 6 月

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団